

# 闘虎

No. 5 9  
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
令和元年 夏季号

## 玉岡颯斗インハイの雪辱果たす優勝！

### 全国高校生グレコローマン選手権大会

8月17~19日、大阪府金岡公園体育館において、「第35回全国高校生グレコローマン選手権大会」が行われた。昨年度、国体グレコローマンスタイルで優勝している玉岡颯斗（館高3年）は、その後のフリースタイルの全国大会（選抜、インターハイ）は、僅差のV逃し。そこで、得意のグレコローマンなら、優勝は固いと目されていた92kg級の玉岡は、岩手、大阪、岐阜、香川、岡山の選手を破竹の勢いで倒し、決勝進出。決勝戦では、インターハイ王者で、玉岡が18日前、1-2で惜敗した宿敵・トワードルジ・ブフチョローン選手（千葉県・日体柏高）と対峙。玉岡は、勝負どころで横捨て身、ローリングを見事に決め、5-1で快勝。群馬県選手としては、平成21年の池田圭介（館林jr一館高一早稲田大）以来、同大会10年ぶりの優勝となった。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会



千代田ジュニアレスリングクラブは、小学生から中学生までの9名が在籍し、一人ひとりが夢や目標を持ち、それらを達成するために日々の練習に励んでいます。僕は、幼稚園の年長の時にレスリングを知り、興味を持ちました。小学校に入学して、すぐにレスリング教室の案内が配られ、母に「オレ、これやるから」といい、自分の意思で始めました。レスリングを始めて間もない頃は全く勝てず、試合中に悔しくて泣き出していました。岡田先生や黒澤先生、先輩たちとの練習を積み重ね、徐々に勝てるようになり、最後まであきらめずに戦うことの大切さを学ぶことができました。こうして、レスリングができるのは、僕たちを熱く指導してくれる先生方や、日々の練習をサポートしてくれる保護者の方々のおかげです。これからも、感謝の気持ちを忘れずにいたいです。一つひとつ練習を全力で頑張り、大きな夢を掴み取り、応援してくれる方々に、恩返しができるチームを目指していきたいと思います。

■練習日時 時30分)・日曜日 毎週火・金 (17時~19時)  
■練習会場 千代田中レスリング場

自分の意思で入団決定！  
掴み取りたい大きな夢！

千代田中3年 上村 朋也

## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

### 第59回

### 千代田ジュニアレスリングクラブ

## メタルジーレスリング

和田 拓大さん（館林市・49歳）

思い出の一葉



## SCHEDULE

### ■館林市民秋季大会

9月7日（土）  
館林市城沼総合体育館

### ■全日本女子オープンレスリング選手権大会

10月19日（土）・20日（日）  
静岡県焼津市総合体育館

### ■国民体育大会

9月28日（土）～10月1日（火）  
アダストリアみとアリーナ

### ■県民総体・高校新人戦 ・群馬県小学生総体

11月3日（日）  
館林市城沼総合体育館

### ■全国中学選抜レスリング選手権大会

11月下旬  
駒沢公園体育館

この写真は平成元年3月、私が中央大学入学直前に、長野県塩尻市で元開催の関東大会優勝などの実績を作りました。私の父は、拓殖大学出身で、母校愛からか、私の名前を「拓大」（たくお）にしましたが、先輩の勧誘もあり、憧れの中大に進みました。この合宿に、中大の大先輩である笛原正三（メルボルン五輪メダリスト）先輩が来てくれて、往年の技術を教わりました。今も館高から大学まで、レスリングを通じて得た仲間は、私の最高の財産ですね。

右端下から4番目が私です。私は2つ上の兄と共に、リトルタイガー（館林jr）でレスリングを始め、館高へ進み、高校では全国選抜準優勝、地元開催の関東大会優勝などの実績を作りました。私の父は、拓殖大学出身で、母校愛からか、私の名前を「拓大」（たくお）にしましたが、先輩の勧誘もあり、憧れの中大に進みました。この合宿に、中大の大先輩である笛原正三（メルボルン五輪メダリスト）先輩が来てくれて、往年の技術を教わりました。今も館高から大学まで、レスリングを通じて得た仲間は、私の最高の財産ですね。

